

●交通体系（みんなが利用できる交通体系）について

国道4号4車線化事業は、用地調査と一部用地買収が進められており、村でも、地元の声を図に伝え、「国道4号拡幅改良（4車線）建設促進期成同盟会」と一丸となって、早期完成に向け要望活動を実施してまいります。

村道整備は、尾西中山線改良舗装事業や大瓜南側線改良舗装事業を継続するとともに（仮称）長町小沼田線改良舗装事業の新規事業化を予定しており、さらなる村道整備を図ってまいります。



▲国道4号の早期4車線化を

●高度情報化（情報技術を活かした効率化）について

村ホームページを効果的に活用し、行政サービスの情報提供を進めるとともに、本村の現況を詳細に理解していただくため、適時的な情報発信に努めてまいります。また、ホームページ以外の情報発信も検討してまいります。

●生活環境（安心して快適に暮らせる生活環境）について

「ときわ台南」住宅団地は全区画の6割以上の方がお住まいになり、着実に定住化が図られております。今後は、海老沢地区の未利用地解消や、五反田・亀岡地区整備計画区域の拡大について、さらにコンパクトで良質なまちづくりや定住を促進してまいります。



▲ときわ台南住宅団地

村営住宅は、今年度、五反田住宅及び河原住宅の大規模改修を実施します。年次的に改修工事を行っておりますので、住宅入居者の声に耳を傾けながら居住環境の向上と適切な維持管理に努めてまいります。

水道事業は、人口減少や水需要の減少等の課題への取り組みとして広域連携の検討を進める「宮城県水道事業広域連携検討会」が昨年12

地震災害等でのブロック塀倒壊事故防止のため、危険なブロック塀等の除去経費の一部補助について、制度を広く周知し危険箇所を除去を促進し安全確保に努めてまいります。

●防衛施設（防衛施設との連携）について

沖縄駐留米軍による実弾砲撃訓練は、7月中旬の実施が防衛省より公表されております。王城寺原演習場での訓練は8年連続となりますので、国に対し、住民の不安解消による信頼関係の構築は元より、事件・事故防止に万全を期すよう、さらには恒常的な訓練とならないよう強く要請してまいります。また、演習場から起因する障害防止事業をはじめとして、今後とも関係機関との連携による対策を進めるとともに、防衛省予算の補助事業を積極的に取り入れ、諸事業の整備促進に努めてまいります。

みんなが主役の新しいまちづくり

●行政運営（計画的な総合行政）について

第5次総合計画の評価・検証や住民の意見を幅広く求めながら、今年度末に「第6次大衡村総合計画」を策定いたします。

また、「大衡村地方創生総合戦略」の具現化に向け、目標に掲げた施策を一体的に進めながら、地方創生の実現に努めるとともに、「大衡村公共施設等総合管理計画」の趣旨に基づき、公共施設の調査・分析施設の再配置や統廃合、中長期的なメンテナンスサイクルの構築等、公共施設の最適化の実現に努めてまいります。

●財政運営（経営的視点に立った財政運営）について

税収の確保につきましては、税制改正大綱の趣旨に基づき、各税目の課税対象の的確な把握に努めるとともに、納税者の立場に立ち「公平・透明・納得」のもとに適切に業務を執行してまいります。

●まちづくり（共に育むまちづくり）について

「開かれた行政」の体制として、情報公開を進め、村民の皆さんが自ら参画、行動できる地区活動を支援してまいります。本年は村制施行130周年の節目の年にあたり、これまで村の発展にご尽力を遂げられた先人の方々に敬意を表するとともに、記念式典を開催します。

月に設立されました。県が進めております上地下水一体官民連携事業は、水道水として安全かつ安定的に受水するため、県のリスク管理に注視し、検討・進捗状況、事業効果について丁寧な説明を求め、情報収集に努めてまいります。

環境保全活動は、「万葉クリーンエネルギー導入促進事業」、「万葉サンサンエネルギー発電普及促進事業」を、利用しやすい補助事業として継続してまいります。また、小学校照明器具のLED化を行い、省エネとCO₂削減を図ってまいります。

衡中北地区集会所については、今年度、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して建築し、地区住民の利便性向上とコミュニティの充実に努めてまいります。

●防犯・防災（安全で安心な暮らし）について

昨年度の村内の交通事故件数は294件で、一昨年より増加しましたが、3月8日に死亡事故ゼロ1,000日を達成しました。通勤車両や事業用車両等が大幅に増加している村内の交通情勢を直視し、関係機関、団体とさらに連携を図り交通安全活動を積極的に推進してまいります。



▲第6分団(奥田)に整備したポンプ小屋と小型動力ポンプ付軽積載車

昨年、村内では幸いにして住宅火災は発生していませんが、今後も広報紙や無線放送を通じ火災予防を呼び掛けるとともに、消防団の機能充実を図りつつ消防署との連携を密にしながら、火災予防に万全を期してまいります。

近年の気象状況により、思いがけないときに思いがけない場所で自然災害の被害に見舞われることが多くなってまいります。いざというときに備え、防災訓練を充実させるとともに、各地区の自主防災組織と連携を図りながら自助、共助、公助をもとに一体となって災害に備えてまいります。なお、9月1日に本村を会場として宮城県総合防災訓練が実施されますので、消防団や婦人防火クラブ、自主防災組織など各団体の力をお借りしながら訓練を実施したいと考えております。

施政方針（教育部門）

みんなで学びみんなで育む生涯学べるまちづくり

●生涯学習（生涯活かせる学習活動）について

生涯学習の推進は、村民一人一人が生涯を通じて主体的に学ぶことができ、成果を地域社会に還元できる生涯学習社会の実現を目指し、幅広い学習機会をきめ細かく提供してまいります。

●学校教育（豊かな人間形成のための教育）について

小学校では、学力向上研究指定校事業の取り組みで得た子どもたちが生き生きと学ぶ姿や教員の指導力向上及びICT機器の効果的な活用等の成果を今後も継続し、学力向上が図られるよう努めてまいります。中学校では、「確かな学力」の向上に向けて、生徒の学習意欲向上のための授業づくりや、学び支援事業を活用した家庭学習の充実等に取り組んでまいります。また、志教育の充実や豊かな心を育てる体験活動の推進、道徳教育の充実を引き続き努めてまいります。給食費の減免制度については、保護者の教育費の負担軽減のため、平成31年度から全額を免除することとし、子育てしやすい環境の一層の推進を進めてまいります。

●スポーツ・レクリエーション（共に楽しむスポーツ・レクリエーション）について

スポーツ・レクリエーションの取り組みにつきましては、各種スポーツ大会の開催を通して、村民誰もがスポーツやレクリエーション活動に参加し親しめる機会の提供、生涯にわたって充実したスポーツライフを送れるような環境づくりに努めてまいります。

●文化（歴史・文化の継承）について

ふるさと美術館は、魅力ある企画展の実施に創意工夫を図るとともに、多くの方々が気軽に芸術文化に触れることができる、愛される美術館を目指し、年間を通して効果的な事業運営に努めてまいります。

●交流活動（多様な連携による交流）について

地域間や世代間の交流機会の場として、村内の施設等の利用を促進し、イベント開催を通じて村民の皆さんの交流の輪を広げてまいります。また、友好交流都市の岩手県金ケ崎町と、芸術文化面の相互交流を積極的に推進してまいります。